

令和8年度 広島みらい創生高等学校「聴講生」募集！ ～地域とともに学ぶ、新しい高等学校のカたち～

広島みらい創生高等学校では、地域に開かれた学校づくりの一環として、社会の方が高等学校の授業を受けられる「聴講生制度」を実施しています。高校生と一緒に学ぶことで、世代を超えた学びの場が生まれ、新たな気づきや交流が生まれます。

「高校の授業を、もう一度受けてみたい！」「新しい分野に挑戦したい！」「地域の若者と一緒に学んでみたい！」そんな思いを応援する制度です。

ここでは、令和8年2月13日に、広島みらい創生高等学校のホームページに公開された「令和8年度の聴講生募集」(<http://www.miraisousei-h.edu.city.hiroshima.jp/img/file1799.pdf>)の情報をもとに、聴講生制度の概要や魅力などについて説明します。

1 聴講生制度とは？

聴講生制度とは、地域の社会の方が、高等学校で開講されている特定の科目の授業を、現役高校生とともに学ぶことができる制度です。

授業は17時20分以降の夜間に開講されるため、お仕事や家庭の用事を終えた後でも通いやすく、学び直しやスキルアップにぴったりです。

高等学校という学びの場が、地域の人々にとっても「開かれた学びの場」となることを目指しています。

2 選べる講座、広がる学び

簿記・数学・古典・理科・工業系の専門科目など、幅広い分野の授業が開講されます。授業は1回50分で、定時制の課程では週2回（水・金）、通信制の課程では隔週木曜日に実施されます。

「授業を受けるなんて久しぶり、ちゃんと集中できるかな…」と不安に感じている方でも、このペースなら無理なく続けられるのではないのでしょうか。

しかも、聴講料は通信制の2単位科目で660円からと、とてもリーズナブル！

例えば、数学A（2単位）や科学と人間生活（2単位）は660円、数学Ⅱ（4単位）や電気回路（4単位）は1,320円。定時制の場合は、通信制に比べて授業回数が多いため、簿記（4単位）6,960円となっています。

3 募集概要（詳細は必ず学校のHPで確認してください）

- ・対象：18歳以上の方（ただし高校生は除く）
- ・募集人数：各科目5名程度（希望多数の場合は抽選）
- ・願書受付：3月6日（金）～3月12日（木）13時～17時（郵送は12日必着）
- ・説明会：3月6日（金）18:00～
- ・開講式：4月15日（水）16:50～

※なお、聴講料のほか、教科書・教材費などは実費負担です。

4 参考事例：他校の取組

このような取組は、広島みらい創生高等学校だけでなく、他の高等学校でも行われています。

例えば、福山市の広島県立東高等学校では、広島県立歴史博物館と連携し、「東高生と学ぶ郷土の歴史」と題して、地域の方々に授業を公開する取組を行っています。

みなさんの近く的高等学校でも、同様の制度があるかもしれません。ぜひ、近隣的高等学校のホームページをチェックしてみてください。

参考

※広島みらい創生高等学校の聴講生募集については、広報紙「ひろしま市民と市政」（令和8年2月15日号 N0.1844 7面）にも掲載されています。